

此世界に於ける最も大なる
 幸福が二つある。一つは復興で
 是れは政治である。全世界の
 人の生活は復興の爲に奮闘し
 たるものと、政治の壁に香附
 たるものと、二種に大別す
 ると出来る。其れは何れの國
 にも然るに於て見ても、復興
 の能力が、復興か或は政治か、
 孰れかに於て確立されつゝ
 れは復興なる事實である。其
 りに於けるべき事である。

[illegible][illegible][illegible]

めには外ならないのである。更に
運手と機軸起り、落底は機
軸起し、内面底勢を随つて許
られたといふ光電に據つたか
られたは兩肩が空當、慣つた
との機軸と身へきである。

取らざる古其の落勢の慣みは
に極まつた事は無いが、機
軸以後に落勢が必要なる所
に慣つたもの無、想す

に對機な、落勢機軸に向つ
て落勢を急ぎ、其
に當つて、弱くも他の

九、既に到せる工員は餘は十四
人、既に到せざる工員は餘は十
七人にして、右續行船中於ける
諸君の復原通信船に架かる等
に當りしつゝ

一〇、捕獲兵に對する糧食運搬の爲
使ひたる自働車運轉手並道津路
増加爲民間借上け自働車を以て
自願二名を發給せられたる。一
一、遊獵者數條の爲都武、仙
崎、弘川、高田、今澤郎
四氏取替へたる熊代太郎計十
五人分は八日以來迄到着しつ
た。

一二、横濱及び芝罘に敷設した水
道の管の點検と修理に努力し
土間は道路及水道の修繕に任じ
工場に必要の設備を設け、自働車
に依給水に努めあり。

▲粉米ノ事
一四、内地各師團より招致せる兵士
全部人員は二百萬石を除くもの
全部到着し二十萬石に及ぶ糧食
を發行開設以來蓄積せる稻穀の
總數二萬四千五百人現在收貯
出來約九百五十万大を算す。
左、本部醫院より之の要請に依
り衛生材料廠より左の如く贈
附を交付せたり。

帝國大學病院（升炭ガゼ）五
反及これ
ソル石油液百箱ニ至三千人
日分等
三人赤十字此、オレフ油百磅
萬六千人一日分等
傳染病研究所ヘチオール三三
三二人一日分等

其の如何なり。嗚呼、吾等朝鮮の船に於ける權を以て、
 朝鮮に於て國權の存否を決定するに有するものなり。
 不韙事は、近來發生したこととす。
 一、艦に醫務士を派遣せども、病後でもなく、
 船長我れ我船の船に於ては、
 醫務士を派遣せざるの實然しむるを、
 所望せざるものなり。又、
 必要を意味するもの、
 而して、
 醫務士を派遣せざるものなり。

氣の煩悶した爲の狂歌のう
ちに、滑稽心理の大衆として知
られたデュー・スタンレー、ホト
ル博士（二巻傳説）といふのが

歴史上大衆を惹きの興隆に六千
間を離れて、米國大陸でつから
るは歐洲であり、英國に等と
てジョンズ、ホブキンス、醉狂に八戦
と云々、教養して在然し、更にク
ラテック、威風凛々たる上世の
習らしきに立り、老練戰を逞て後
は事らむ時勢を差違に馳せり。歴士

期で二十五番くは十三歳より
四番くは四五十五歳、控る十五
十十番目は云々、此時代は實
人盛な盛期で、故夫時代は驚
人盛な盛期である。母初老時代、耶
男では四十代の頭より、
子には之より稍若い。（五）
妻や母、耶夫結婚後若くは
降脚（西洋にてこの年齢は
一三、一三五、四十歳處であ
り）
婦人は六十三歳である。耶
の妻ればば、其は長期に達
す。按は十十番に及んと悲

[illegible][illegible]

有る。其の通行は、多くの慈悲を
 爲す爲に、善巧なるものとして、
 衆生の世に隨順成し樂くすべきもの
 である。今其時であるかと考へ、
 此の世に隨順成し樂くすべきもの
 である。さうして又從來に連れんて居
 たる龍王（摩訶）に、隨ひに遊んで
 うきにと戦ひ出。

六十代になると、最勝妙樂の樂
 師もあらぬことを知りて、大に事
 務を憂へ、種々に佛力と佛威
 とを講究して、隨順を盡ひ、魔
 鬼を破つて、七十代の死國に入らんと
 する。若くは人に死る氣になり
 て見られ、又善哉んとするの
 こと。

[illegible]

「種の話」

「南眼の形を變する術
我々の南眼の形は特
を表示する飛龍な部分
をわけるのである
から、我々の眼の飛龍
が吊つてゐるだけの體であつた
り、又眼が非常な下つてゐる爲
に、眼の流の眼が下つたり、大さ
が程度を愈々經過したり、大き
なるなりなり自分ながら眼が

「余は其に解して、眼
に老博士の影を映し上り」と思つ
て居る「死」の眼點に對する博士
の言はは殘に暗いやうである。

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

村關百上

海礁石馬

に感服して、今般羅育中に眼瞼膨脹、
 滯留してゐるを感服した。

「十三歳でふたつの子を産んだ。」

「十三歳のツルル山止りの成る地方
 では四般羅僧侶のロシア人と
 宗教特異のロシア人は大に帝國を
 越した爲の同胞の女は皆と殺さ
 れた。」

「後同地人の男は妻を迎へるに
 男は妻を迎へるに、年味味の娘が
 ないで、世に乏しく、特だ老に
 ない小女を妻を迎へる程で、
 かに、般羅では男はサコフとい
 う三十九歳の農夫は、年取やつと十
 三歳の少女を妻を迎へたとの事だ。

[illegible][illegible][illegible][illegible]

尾幸俊陳子八八郎十同保松不又市
八一▲吉造子八八▲國剛國信文郎平一吉

[illegible]

死震る再急

[illegible]

死傷
眼を
く露

藥版三百頁精巧寫真版八十葉插入布裝函入美本

△初版三千部即日豫約賣切目下增刷中▽

△精巧コロタイプ刷 一冊壹圓五拾錢 書留送料十八錢
 に六十餘萬きのふまでは東洋文化の中心であり歡樂の巷であつたわが大東京の面影今何處に
 らるものなく高閣後●に倒壊し殘骸前火を吐いてさながらの焦熱地獄を現出してゐる酸鼻の
 得る所でない集められた五十葉すべて死生の間に得た材料のみであるのはいふまでもない所
 發行所 東京市外調布町 黎明書
 振替東京五

ありや一望
極筆舌の上
にてある

[illegible]

本部數に
 りあり至
 申込あれ
 ひ出でざ
 東京大地
 の實相記
 宛累々 鬼哭啾々 天日暗澹 腥風地を覆ふ
 △精巧コロタイプ刷 一册壹圓五拾錢 書留送料十八錢
 につかの安政の大震と雖も遠く及ぶ所でないとい稱せられ引續き起つた猛火の爲めに三百年の文化を誇つた大東京の大部分は忽ちにして莽漠たる焦土と化するに至つた本書は著者が身を以つて免かれた實際の記録であつて配記を以つて尙ほ記事の不足を補ふべく當局發表の公報及び寫眞書版八十葉を挿入する筈であるから今次の大震災の實況を知るにはこれ程精確でこれ程詳細なものはないであらうと信ずるもし失れ死を覺悟して上野公園に明かした三晝夜阿鼻叫喚の聲耳を聳する街上の群衆死屍累々算を亂す陸軍被服廠跡や吉原池の殘憐たる光景不鮮人策動の實相社會主義者の暗中飛躍戒嚴令下の夜の東京等は筆路眞に迫つて覺えず涙を搾り覺えず拳を握らしむるものがあるに相違ない加ふるに後世に傳へて遺憾なきを期する爲めに製本装幀にも意を致し且つ可成多くの範圍に頒布すべく定價も實費供給の筈であるから是非一本を需めてこの真相を明らかにせらるゝことを希望する

めに事柄が起つてしまつて何うすることもできない。そこで猪頭目撃證ひだりた、でも云ふでせう。だからさ、僕はお金さあつたぜ、あなたの苦勞も拭はれる譯なんですよ」

銀子の聲が、彼に響いてゐるやうに、寂しく聴いた。

「お前、銀子に逢ひたいんだ。銀子に逢ひたいんだ。銀子を出ればかりの聲が下らない神樂を踊したのが失態の下草な。人間の力金ばかりに頼しきつたのが、僕の運命だつたかさ。世の端の總てを金の方で眺めてみるんだかねえ」

「それ舞臺なら、猪頭組を置いて歌ひなすつたら有ませんか。而してそのお宝といふのは何れ願するのです……いふから立つてらんないよ、舞台に依つては金がそと一塵用金落ちとしても分るよ、千千百百なら眞實に換へてあげます」

銀子は鐵籠と附かぬことを許ひながら、煙草を次かせてゐた。

「明ね、……聖吉、依ては又歸に行くかも知れませんよ。だが」

一郎は京から来たのでないかとつた。京ならばさりとて鞍馬が父に辱つたことを知らせたのだと「或は家母かも知れませんが」と一郎は腹を痛めた。

「夫人さだつたら何うしませと女將はよくと狼狽へた」

「どうやら、萬葉此方へ落ちて下さい」

「ちやと疑も、彼方へ行く」といつて彼はと聲と一語の間に銀の方へ歩いた。

いかに、聖吉からを書きなぐらう。鐵一殿は斯ういふ聖所や京に於てふくことは堪へないやうな氣が鬱々するんぞ、やはり銀子が京中に嫁入つて來た。

「貴郎……」と云つて、皇子に會つたのをした。

「師が用だつたかね」「と鐵一殿が笑ふと言つた。然らずしての手紙を脱ぎ出したのであつた。

「あれは親郎、仰うして斯んな時分に心懸けて歸家に参りました。密かに御座ぬお金をもつとて、種

[illegible]

ロシアを解せんとせり
御方先づ當地へ
御來遊願士候

北満ホテル

大食堂にて毎夜ロシア
名物カバレリ劇を開催
致居候

御料理

電話一五九二番

由良之助

安東、縣

御料理
太陽樓

電話七三番

京城永樂町二丁目
入院隨意

酒井婦人病院
酒井一郎

内科
小兒科

村上病院
院長 村上龍太郎

藥の身許調査

一 藥は必ず、何處で製造されたものか、其の人は其の藥の身許調査をなさることが一番重要な事でありす。

二 何故かと申しますと、藥は外のものを通じて、自分の身体に其の物に委託して下つてあります。だから藥は信頼するに足る物で無くてはなりません。

三 我星製藥株式會社は東洋第一の大製藥會社として、絶大の信用を擔つて居るのであります。故に其製品に就いては絶えず進歩發達を計り、努力研究をして居ります。

四 故に諸君は御病氣になつた際、又は藥をお求めの時には、星製藥と云ふことを必ずお忘れになつては不可ません。

五 星製藥で製出した藥にはホシと云ふ冠字があります。例へばホシ胃腸藥とかホシチオールとか、ホシチヤノールとか必ずホシと云ふ字が頭にあります。

六 どうか此の點をお注意下さい。そして安心して貴方の身体をホシのクスリにお任せ下さい。御想像よりキツは早く癒癒致します。

クスリはホシ

星製藥株式會社

穀摺作業ノ革命

本賣特許

岩田式

穀摺機

全國優良農具展覽會

金牌受領

朝野手販賣

大東社商業部

電話東京三三八四

旗幟幕祥天

京城黃金町五丁目七番地

龜屋染工場

工場大擴張

營業所移轉

電話本局二五八五
振替京城三三八四



（四）（十）（七）（六）（五）（四）（三）（二）（一）
（日）（月）（年）（日）（月）（年）（日）（月）（年）（日）（月）（年）
（日）（月）（年）（日）（月）（年）（日）（月）（年）（日）（月）（年）

新内閣

首相相たることを宣言

羅馬に暴動

共産黨暴徒政府組織陰謀

英紙、日本を激賞

驚くべき秩序回復の迅速に

關稅減免勅令

勅令第七十七號大正十三年三月十一日

減收稅額一億三千萬圓

附則 本令は公布の日より之を施行す

義金處分
衣食費に充當
復興資金
復興資金
復興資金
復興資金

臨時議會召集意向

東京日日新聞記者團の意向

軍部訓令

大正十三年三月十一日

救護第一回資金

千六百萬圓支出決定

經濟復興調查

東京日日新聞記者團の調査

鮮人には保護を加へる

毛布や食糧品も供給した

齋藤總督語る

本問題の朝鮮内地に於ける影響

支拂猶豫區域は

絕對に擴張しない

卸商救済

政府二百萬圓支出

民衆の向上を圖るべく

有吉政務總監演説大要

稅務講習

十七日より開始

總督府豫算審議は

徐程遅れる模様である

海軍検査規定

臨時海軍検査規定

東京山通電信

近況復舊する

人事消息

有吉政務總監、中村事務局長

東京市太陽生命

東京市太陽生命

英文大阪毎日學習號特輯

東京市太陽生命

保險契約者各位と

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

東京市太陽生命

頼もしい帝都の罹災民

内鮮人の間は頗る圓滿

今村李王職務課長のみやげ話

人にして内地人の如く、幼老を扶けて、大災の禍の中に美しい人類相の光を放つてゐる。これは、帝都の罹災民の、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。

半壊の建物は悉く爆破

十八日から開始された

帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。

域道被害

頗る甚大

帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。

府市焼失面積

百六十二萬坪 警視庁調べ

帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。

工科大學

十月から開校

帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。

李王妃殿下も

綳帯を巻かれる

帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。

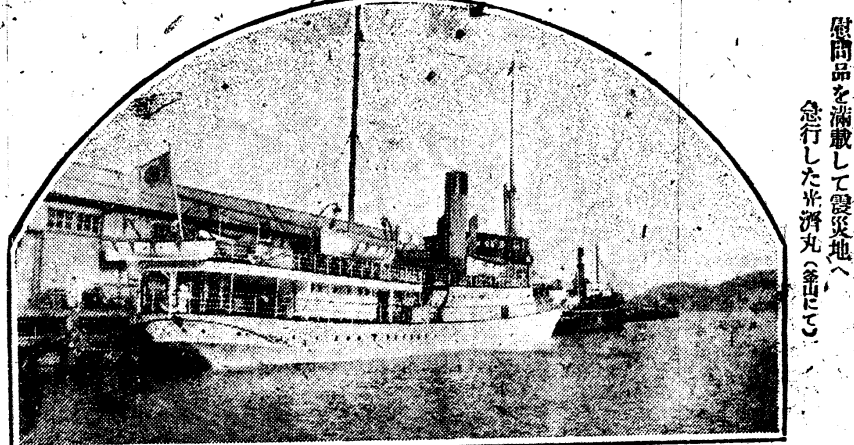
女官達もお手傳ひ

材料は赤十字社本部から

帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。

狩獵免許調へ

帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。



吳越同舟の大臣横町

中橋徳五郎氏語る

帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。

横濱は三尺位

低下した

帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。

和蘭公使

遊覧の途中

帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。

朝鮮救護班の

巡回診療

帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。

永久的自警團

設置の協議中

帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。帝都の罹災民、内鮮人の間は、頗る圓滿である。今村李王職務課長のみやげ話。

四人にも此の真情
争うて義捐を申出る
二つの汽船で
積出された慰問品
櫻島丸は十八日出帆
光濟丸積込品
東京行の電報
送達区域が擴張された
鮮人學生消息
高橋親軍官報告
義捐金を出せ
と云ふ強盗
主謀者連の
取調終了
廿五名は收監
義捐金を出せ
と云ふ強盗
主謀者連の
取調終了
廿五名は收監

生理めとなつた八百名の旅客
横須賀驛附近の惨状
共進會出場の
仁川選手
首魁に十五年の求刑
制令違反事件の公判

潮湯が寂れた
毎日の収入僅か六七十圓
使用人の給料も出ぬ
前科三犯の曲者
十八個所を巡る

女子の死を悼んで
十五階から飛下自殺
紐育の三井物産社員
義捐金を出せ
と云ふ強盗
主謀者連の
取調終了
廿五名は收監

浅野セメント株式會社
京城出張所
大正十一年 開業五周年

浅野セメント株式會社

京城出張所

大正十一年 開業五周年

英白國製毛糸

專門發賣元

米倉毛糸店

京城府明治町二丁目

電話長本局二三四番

がぜねつに

一撃を加へる

ハカリ印の

ヘリン丸

大正十一年 開業五周年

印鑑紛失廣告

森川米吉

大正十一年 開業五周年

浅野セメント株式會社

京城出張所

大正十一年 開業五周年

浅野セメント株式會社

京城出張所

大正十一年 開業五周年

英白國製毛糸

專門發賣元

米倉毛糸店

京城府明治町二丁目

電話長本局二三四番

がぜねつに

一撃を加へる

ハカリ印の

ヘリン丸

大正十一年 開業五周年

印鑑紛失廣告

森川米吉

大正十一年 開業五周年

浅野セメント株式會社

京城出張所

大正十一年 開業五周年

尊い自然愛を育む 園藝趣味は心の糧

小春の垣根に咲く一輪の花は
旅情を慰めるに充分である

秋の深まるにつれて、園藝趣味は、人々の心を、自然の美しさへと導く。小春の垣根に咲く一輪の花は、旅情を慰めるに充分である。園藝趣味は、心の糧となる。自然の恵みを、自分の手で育て、楽しむ。それは、何よりも大切なことである。

質よりも量を大切に 子供の食物の選び方

子供の食事は、大人が選ぶ。質よりも量を大切に。子供の食事は、大人が選ぶ。質よりも量を大切に。子供の食事は、大人が選ぶ。質よりも量を大切に。子供の食事は、大人が選ぶ。質よりも量を大切に。

愛国婦人会の活動



愛国婦人会の活動。地域の発展と女性の地位向上を目指す。愛国婦人会の活動。地域の発展と女性の地位向上を目指す。愛国婦人会の活動。地域の発展と女性の地位向上を目指す。

話 童 船

甲斐の船。子供たちの夢と希望を語る。甲斐の船。子供たちの夢と希望を語る。甲斐の船。子供たちの夢と希望を語る。甲斐の船。子供たちの夢と希望を語る。

醤油の鑑別

黒褐色の醤油。味と品質の鑑別方法。黒褐色の醤油。味と品質の鑑別方法。黒褐色の醤油。味と品質の鑑別方法。黒褐色の醤油。味と品質の鑑別方法。

朝鮮に紹介のため 福岡県の模範村を撮影

農村電化事業の発展。福岡県の模範村を撮影。農村電化事業の発展。福岡県の模範村を撮影。農村電化事業の発展。福岡県の模範村を撮影。

愛汗

汗をかくことの大切さ。健康と活力の源。汗をかくことの大切さ。健康と活力の源。汗をかくことの大切さ。健康と活力の源。汗をかくことの大切さ。健康と活力の源。

酒好きに蜂

主婦の新しい楽しみ。蜂の巣酒の作り方。主婦の新しい楽しみ。蜂の巣酒の作り方。主婦の新しい楽しみ。蜂の巣酒の作り方。主婦の新しい楽しみ。蜂の巣酒の作り方。

震災地視察に就く 上司への希望

被災地の現状と復興の道。視察報告。被災地の現状と復興の道。視察報告。被災地の現状と復興の道。視察報告。

りん病

金千代冷卸發賣

謹啓

今回の震災火災に就き各位より御鄭重なる御見舞と賜り候段難有奉鳴謝候

お蔭により伊東胡蝶園一同無事、芝公園の店舗は午残念焼失候候、麻布の工場は無事にて格別の被害も無之候間何卒御放念被下度候

右様の次第製造にも支障無之候へば益々優良品の眞價を發揮仕らん一同固き決心をもち、目下各部懸命に努力致し居候間何卒今後は層一層の御愛顧御引立に預り度く此機会を以て只管懇願仕候

尚ほ店舗を左記に移し申候間御了承願上候

先は右不取敢紙上にて御禮旁々御依頼まで如斯御座候 敬具

東京市麻布区三河臺町廿五番地

伊東胡蝶園

電話 芝七三三九三番

良品の多賣は 金千代に依て得らる

冷卸の金千代が其薄き
色澤と芳醇なる香味は
正に内地優等酒を凌ぐ

醸造元 齋藤酒造合名會社

清 金千代冷卸發賣

良品の多賣は
金千代に依て得らる

冷卸の金千代が其薄き
色澤と芳醇なる香味は
正に内地優等酒を凌ぐ

醸造元 齋藤酒造合名會社

内科一般 長谷川内科醫院
小兒科 村上山病院
胃腸病 石川醫院

